

## 交通事故ゼロを願って

### 南越前町交通安全祈願祭

1月7日、交通安全祈願祭が、増澤町長や西嶋町議会議長を始め、池端敏彦越前交通安全協会南越前町支部長、南越前町交通指導員など交通安全団体関係者30名が出席し清水の熊野神社で営まれました。

増澤町長は「本日、南越前町の死亡事故ゼロが600日を達成しました。今後も交通事故のないまちづくりの推進のため、交通安全運動に努めていきたい」とあいさつ。参加者らは、玉串を捧げ、熱心に平成19年の南越前町の交通安全を祈願しました。



## 無火災とまちの安全を願い

### 平成19年南越前町消防出初式

1月14日、ウォーターランド南条イベント広場で、南越前町消防出初式が行われました。

制服に身を包んだ南越前消防団員及び南越消防組合署員合わせて143名、車両16台が出勤し、まず、観閲と分列行進。式では、増澤町長が「初期消火や火災予防啓蒙運動など、安全・安心のまちづくりに、団員一同精進、努力をお願いしたい」とあいさつ。最後は、消防車両による一斉放水で締めくくり、参加者は新しい年を迎え、今年一年の防災に対する意識を新たにしていました。



## はっけよい のこった!!

### 湯尾保育所おすもう大会

1月17日・18日、湯尾保育所で2歳児から5歳児48人による相撲大会が行われました。

この相撲大会は、友達同士で体を張って遊ぶことの楽しさや勝ち負けのうれしさ、悔しさを子どもたちに知ってもらおうと毎年行われています。

土俵形のマットで、行司姿に扮した園児が軍配を手に、「見合って見合って～」と声をかけると、豆力士らは真剣勝負。大人顔負けの取り組みを見せ「おもしろかったあ～」と喜んでいました。



## 公園の遊具を整備

### コミュニティ助成事業

地域の自主的なコミュニティ活動の促進や、地域づくりに役立ててもらおうと、宝くじ普及広報事業の一環であるコミュニティ助成事業で下新道区の公園に遊具等を整備しました。

設置されたのは、ブランコ、シーソー、3連鉄棒、移動式バックネットと、利用者の安全を確保するための、河川区域への侵入を防ぐ防止柵です。ご活用ください。



## 後の世代に継承を

### 第1回ふくいの伝統的民家に認定

県では、平成18年4月、「福井県伝統的民家認定制度」を開始。12月14日、伝統的民家に認定された建物77件に「ふくいの伝統的民家」認定証が交付され、南越前町では次の6件が認定されました。

この伝統的民家認定制度は、所有者の申請に基づき、県が「ふくいの伝統的民家」として認定を行うもので、伝統的民家に誇りを持って住み続けていただき、後の世代に継承していただくことを目的としています。

#### 【町屋型民家】

南越前町今庄地区は、旧北陸街道の宿場町の面影を良く残している。旧街道沿いに、南北、約1.5キロにわたって伝統的な表構えを持つ町家が軒を連ねている。

#### (京藤甚五郎家・南越前町今庄 江戸後期(町指定文化財))



建築年代は、天保年間(1829～44)と推定。「うだつ」を持ち、壁面は全て土塗り、軒裏も塗り籠められ、2階は連続する虫籠窓(むしこまど)になっている。屋根は、本屋根も下屋庇も赤瓦葺である。

#### (畠山家住宅・南越前町今庄 江戸末期)



「うだつ」が見られる町家で、切妻造、棧(さん)瓦葺、軒は登梁(のぼりばり)形式。下屋庇は、板葺きで1階左側にやや粗い出格子を持つ。右側には門を構え、さらに土蔵が道沿

#### 【茅葺き民家】

茅葺き、妻入りの民家として、今庄地区板取の茅葺き民家4棟(表紙)も認定となりました。

## 日本の伝統に親しんで

### 第3回今庄地区子どもかるた大会

1月7日、今庄住民センターで新春恒例のかるた大会が開かれ、小学生86人が参加しました。練習を積んだ子どもたちは、静まりかえった会場で、一心に上の句を読み上げる声に集中。下の句の札を見つくと、小気味よい音を立てかるたを取っていました。結果は次のとおり(敬称略)

- 1年 優勝 堀井 駿(山王) 2位 河出詩帆(天王)
- 2年 優勝 川端紀々香(荒目) 2位 藤橋春香(古木)
- 3年 優勝 川上恵吏香(天王) 2位 吉田千晶(稲荷・今庄)
- 4年 優勝 鈴木拓海(立石) 2位 谷口穂乃佳(八乙女)
- 5年 優勝 出口卓哉(馬上免) 2位 勝見公亮(日吉)
- 6年 優勝 山内康平(下新道) 2位 出口さやか(馬上免)



## 許すな、密航！不審者、不審船

### 南越前町沿岸警備協力会らが看板設置

12月11日、河野地区で、密航などの沿岸犯罪から河野の海を守ろうと、南越前町沿岸警備協力会(小川佐七郎門会長)と越前警察署が合同で不審者等発見時の通報を呼びかける看板を、糠漁港など計6箇所に設置しました。

参加した会員らは「河野の海は、自分たちで守ろうという、地域住民の防犯意識の向上につながれば。

犯罪防止には皆の協力が必要。少しでもおかしいな?と思ったら迷わず通報してください。定期的に沿岸のパトロールや広報活動も行っています」と話していました。

